



今年もよろしくお願ひいたします。

新しい年が始まりました。日頃より本校の教育活動に深いご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。保護者の皆様には、健やかに新年を迎えたこととお慶び申し上げます。

いよいよ、今の学年としての「総仕上げ」となる3学期のスタートです。この1年、子どもたちは授業や行事、日々の生活を通して、驚くほど遅く成長しました。表情からは上級生になることへの自覚と自信が感じられます。

3学期は、学習のまとめを行うと同時に、「進級・進学」に向けた心の準備をする期間でもあります。「漢字がこんなに書けるようになった」「友達の意見を最後まで聞けるようになった」そんな、一つ一つの「できた!」という小さな積み重ねを、子どもたちと一緒に丁寧に振り返っていきたいと考えています。それらが大きな自信となり、「次の学年でも頑張ろう!」という希望につながるよう、一人ひとりを温かく励ましていきます。

今学期も、本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

★やってみましょう!子どもとの接し方ポイント★

1. 「聴く・話す」のポイント

親子のコミュニケーションは、時間の長さよりも「質」が重要です。

- ①「相づち」は魔法の言葉: 子どもの話を遮らず、「へえ~」「そうなんだ!」と繰り返すだけで、子どもは「認められた」と感じます。
- ②「アイ・メッセージ」で伝える: 「(あなたは)片付けなさい!」ではなく、「(私は)部屋が綺麗だと気持ちがいいな」と、主語を「私」にして気持ちを伝えると、子どもの反発が減ります。
- ③1日5分の「全力集中」: 何かをしながらではなく、大人が5分間だけスマホを置いて目を見て話す時間を作るだけで、子どもの情緒が安定します。

2. 自尊心(自己肯定感)を育てる

「できる・できない」という結果ではなく、過程に注目します。



- ①「当たり前」を褒める: 「朝起きられたね」「靴を揃えたね」など、当たり前の行動を言葉にするのが最大の応援になります。
- ②失敗は「学びのチャンス」: テストの点数が悪かった時や忘れ物をした時は、責めるのではなく「次はどうすればいいと思う?」と作戦会議の場に変えましょう。
- ③「ありがとう」を伝える: 褒めるのが照れくさい時は「助かったよ」「嬉しいな」という感謝を。子どもは「誰かの役に立っている」と実感して自信を持ちます。

3. 生活習慣・学習のサポート

自立を促すための小さな工夫です。



- ①「選ばせる」経験: 「宿題はご飯の前と後、どっちにする?」と自分で決めさせてることで、責任感が芽生えます。
- ②忘れ物を「あえて」させる: 親が先回りして準備しすぎると、子どもは注意深くならなくなります。時には忘れ物をして困る経験も、大切な学びです。
- ③リビング学習のコツ: 「勉強しなさい」と言う代わりに、親も隣で読書や家計簿をつけるなど「集中している背中」を見せることが一番の刺激になります。

よい歯の学級コンクール 優秀学級紹介

健康な歯と口は、生涯にわたる健康づくりの基盤であり、日常生活の質の向上につながります。むし歯ゼロを達成した学級に館林邑楽歯科医師協会から表彰がありました。



1年A組 2年B組 3年B組 つくし組 わかば組

これからもよく歯を磨いてむし歯ゼロを目指しましょう!!

